



認知症 発達障害 精神疾患



# 認知機能の低下が疑われる人への緩和ケア意思決定支援のポイント

※講義時間:310分

**上村恵一氏** 国家公務員共済組合連合会 斗南病院 精神科 科長 (診療サポート室長 兼任)  
2020年4月より現職。北海道がん心身ネットワークの事務局長として、道内のがん治療医、緩和ケア医と協同し、緩和ケア教育の普及に努めている。第29回日本サイコオンコロジー学会学術大会では大会長を務めた。主な書籍は『がん患者の精神症状はこう診る 向精神薬はこう使う』(編者代表・株式会社じほう)など。

**録画配信** [視聴期間] **オンライン** **約2週間** 申込2~3日後から視聴できます。  
**受講料** 一般 10,000円 会員 7,000円  
税込 ※テキストはpdfでご提供します。(印刷可)  
※PC/タブレット/スマートフォンなどインターネット環境が必要です。

## プログラム 事例を交えて学び、倫理的ジレンマも解消できる

- 1. 認知機能障害を有する疾患とアセスメント**
  - ① 認知症?それともせん妄? せん妄の除外の重要性について
  - ② 認知症とうつ病 アセスメントの注意点
  - ③ せん妄の適切な評価と介入方法について
- 2. 緩和ケア領域で関わる精神疾患を理解する**

**【うつ病、認知症、統合失調症】**

  - ① がん患者におけるうつ病の頻度・特徴・期待される薬物療法
  - ② 統合失調症とがんの関係
    - ・統合失調症患者へのがん治療の難しさ
    - ・より良い看取りにつながるアプローチ

**【発達障害、人格障害、否認】**

  - ① ASD、自閉症、ADHDの違いと特性
  - ② 発達障害患者の特性 アセスメントとコミュニケーションのポイント
  - ③ 人格障害患者の特性と対応
  - ④ 否認について ・日常生活での否認と医療現場での否認 ・否認に対する評価と介入
- 3. 【事例を交えて】人生の最終段階における意思決定・代理意思決定支援への介入とプロセス**
  - ① 患者自身の意思決定能力の評価と、治療方針の進め方
  - ② 決められない人の医療同意について
    - ~決められない人はどうやって決めるの?
  - ③ 代理意思決定支援者への具体的な説明とカンファレンスの進め方
    - ・医療者と代理決定者 双方のかかわり方と倫理的問題
    - ・患者本人・家族の意見に食い違いが生じたときに
    - ・患者の推定意思を知るアプローチ
- 4. 燃え尽きないために "ネガティブ・ケイパビリティ"の薦め**
  - ・"ポジティブ・ケイパビリティ"~至上主義の弊害
  - ・悲嘆のケア~遺族に対する有益な声かけとは
  - ・迷うことの必要性

プログラムや講師プロフィールなどセミナーの詳細はこちら ▶ 日総研 17447

**関連雑誌** Web教材+季刊誌 (定期刊行物・会員制)

望む医療・ケアで人生の最終段階を支える!

## エンド・オブ・ライフ ケア

End-of-Life Care

B5判 80頁 入会金 3,000円 年間購読料 18,900円(共に税込)

今後の予定

- 非がん疾患患者への早期からの緩和ケアと意思決定支援 [春(4月)号]
- 終末期におけるコロナ禍で苦悩する家族への支援 [春(4月)号]
- 疼痛コントロールと鎮静における看護実践 [夏(7月)号]

日総研 **接遇大賞** 優れたサービス取り組みを表彰

応募は9月30日まで。発表は11月。

取り組み事例の紹介記事はこちら

学費の最大70%が給付される  
専門実践教育訓練給付金指定講座

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

## 社会福祉士養成所 通信課程

お問合せ TEL: 0120-054977 URL: www.nissoken.com